



長崎っ子の心を見つめる週間～様々な学びがありました～

前号で、7月1日(水)～7日(火)の「長崎っ子の心を見つめる週間」についてお伝えしました。この期間を中心に、各学年とも様々なことについて学び、考えを深める機会がありました。その一部を紹介します。

1/2(木)メディア利用に関する講話

この日は、長崎県警のスクールサポーターとして活躍されている 様を講師としてお招きし、「インターネットにひそむ危険性」というタイトルの講話をいただきました。

「世界のインターネット人口はどのくらいいるのか？」この質問の答えを覚えているでしょうか？答えは約60億人。何かをした際、かなり多くの人に見られているかもしれない、インターネットに載った情報は削除にも時間がかかり、回収不可能になりうる、ということが言えます。

「ネット社会」と言われる現代社会では、SNSが原因で犯罪に巻き込まれる可能性が高くなっています。インターネットの危険性、SNS利用に起因する犯罪被害、軽率な行動が犯罪になることなど、しっかりと理解しておかなければなりません。



「フィルタリングを使う」「家庭内ルールを決める」「自分のルールを決める」といったことを当然のこととして意識してほしいと思います。

参考までに、

7月は「青少年の被害・非行防止全国強調月間」となっており、本県では「ココロねっこ運動強調月間」として、青少年の被害・非行防止対策に関する取り組みが行われています。

ここ数年はスマートフォンやSNS等を起因とした事犯の被害や加害も大きな問題となっており、また、2019年には、ゲームなどに過度に依存し、日常生活に支障をきたす「ゲーム障害」が、世界保健機関(WHO)の新たな疾病として正式に認定されたという状況もあります。

県でも、適切なインターネット利用に向けて「ながさき基準」が提案されています。改めて確認していただきたいと思います。

<ココロねっこ運動強調月間の実施事項>

- (1) 広報啓発活動の推進
- (2) 適切なインターネット利用の推進(「学校メディア宣言」の実施促進・「ながさき基準」等の推進、メディア利用に関する啓発や学習等の実施促進)
- (3) こどもの安全確保と保護活動や有害環境浄化活動の推進

とても便利で楽しいスマホやゲーム。ついつい使いすぎていませんか。

知らない人とつながっていませんか。そのメッセージは相手に正しく伝わりますか。

メッセージが友だちに思ったとおり伝わらずにトラブルになったり、長い時間使いすぎて自分のからだをこわしてしまったり、知らない人と会って命をなくしたりする事件も起きています。

大切な命やからだを守りたい。そのためにネットと電子メディアの利用の望ましい終わる時刻を基準として夜9時としました。

これを目安に、各家庭で、友達同士で、自分自身で終わる時刻を決めてみませんか。

まずは、そこから。

「ネット・電子メディア利用ながさき基準・夜9時まで」より



7/3(金)被爆体験講話

5・6校時は、被爆体験講話を開催し、 様に講師を務めていただきました。様は6歳の時に立山町で被爆されたそうです。戦後、長きにわたって長崎では原爆の話（学習）がされてこなかったこと、1995年によろやく平和教育が始まったこと、そして、教職をご退職された後、原爆のことを伝えていくことを決意されたことなどの話から講話は始まりました。

昭和20年8月9日11時2分に落とされた原子爆弾。地表面が3000～4000度を超える熱さの中で、多くの方々は苦しみ、亡くなっていました。そして、生き残った人々も、熱傷や放射能などに苦しみ、どれだけきつい思いを抱えてきたことでしょうか。

「勝ち抜く、僕ら少年兵～」という歌とともに、戦争に行くように仕向けられ、間違った考えを教えられた子供たち。それが間違いであったことを改めて伝えようとする 様の言葉一つ一つがとても重くのしかかってきました。

質疑応答では、それぞれの質問に丁寧に答えてくださり、「常に社会に関心を持つことが大切。スマホだけを見ていてはいけない」

「原爆のことをいろいろなところで話をしてほしい」「原爆は人間を破壊する。戦争になってからでは遅い」などのメッセージも与えてくださいました。

被爆して81年目を迎えるナガサキ。このまちに生きる私たちは、少しでも多くの人にこの日の大切さを知ってもらえるように努力する必要があると感じています。



原爆落下中心地碑

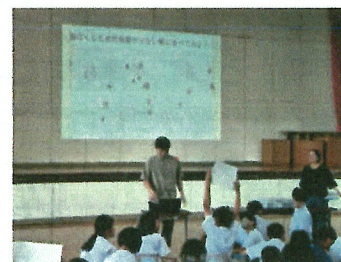
他にもこのような学びがありました

○6月30日（火）～7月2日（木）原爆パネル展

長崎市では、毎年各学校でこのパネル展を実施し、写真を通して原爆の恐ろしさを感じる機会としています。何度見ても、当時の状況が思い起こされ、心が揺さぶられる思いになります。

○6月30日（火）ナシム出前講座（2年生）

長崎大学原爆後障害医療研究所の 先生と研究員の皆様から、放射線と放射能の違いや放射線が及ぼす影響等について説明を受けたり、実際に放射線量を計測したりする活動を行いました。



○7月3日（金）救急救命講習（1年生）

長崎市消防局の方々をお迎えし、「救命」という大事な使命を果たしておられる消防署員の方から、心肺蘇生法やAEDの使用法などの実践的な指導をいただきました。

○平和学習発表会 1・3年生…7月4日（土）、2年生…7月9日（木）

総合的な学習の時間に取り組んできた平和学習の取組についての発表を行いました。特に3年生は紙芝居発表、詩の朗読、掲示物作成、外国人へのインタビュー、合唱と多岐にわたる学びの成果を披露し、参観者に感動を与えていました。

